

7月	豊川 愛護モニター報告	モニター区間	豊川:左右岸 吉田大橋～新城橋
			管轄出張所:豊川流域治水出張所
実施日	令和4年7月31日	実施区間	当古橋～下条橋



上記左は豊川雨量観測所前の河原の風景です。日曜日の午後とあって、大賑わいです。BBQをする人、テントで昼寝をする人、川遊びをする人、みなさん楽しそうです。ただ、この辺りは水量も多く流れも早いので、水の事故が心配されます。無事故で楽しんでください、と祈るばかりです。

上記左は、豊川雨量観測所敷地内にある、羽衣の松伝説の松です。天女がこの松の前の豊川で水浴びをしていたとき、通りかかった若者が岸辺のこの松にかけられた羽衣を見つけて持ち帰ってしまい、天女は羽衣を返してもらいたい一心で若者のお嫁さんになったのですが、子供もできたのに、若者の隙を見て、天に帰ってしまったと言うお話です。美しい場所に似合わない、寂しい話です。



上記右は、下条橋上左岸を堤防から見た景色です。河川敷に果樹や野菜畑が広がるエリアですが、ちょっと残念な区画があったので写真に収めました。近年は、農地も耕作放棄が広がっており、このエリアもあちらこちらでそんな農地が見られます。ここは、土石が積み上げられ、農地に戻すことはまず無理でしょう。地主さんが適切に管理しているとは思いますが、景観的にはとても残念です。

上記右は当古橋下左岸にある「天王の渡し跡」当古橋ができる前は、この渡しが活躍していたとの事です。徳川家康も、浜松と岡崎を行き来したときは、この渡しを使ったのかも知れません。植木がちょうど、渡し船の形をしていて、中にベンチがあります。ちょっと座って、家康の気分を味わうのも、おもしろいでしょう。